

アセットマネジメントOne お客さまへの約束

2026年度版

— お客さま本位の業務運営に向けた取り組み —



投資の力で未来をはぐくむ

アセットマネジメントOneがお客さまに約束すること

■「投資の力で未来をはぐくむ」の実現に向け、私たちは信頼される運用会社であり続けるために、5つのことをお客さまに約束します

約束① 運用を通じてより良い社会の実現をめざします

約束② 運用のプロとして長期的に高い運用成果を追求します

約束③ 幅広いニーズに応える質の高い商品を提供します

約束④ 資産形成に役立つ情報をわかりやすくお届けします

約束⑤ 信頼に応えるために公正で健全な経営を徹底します

▶「利益相反管理方針の概要」はこちら



▶「運用・商品開発機能に関する取組方針」はこちら

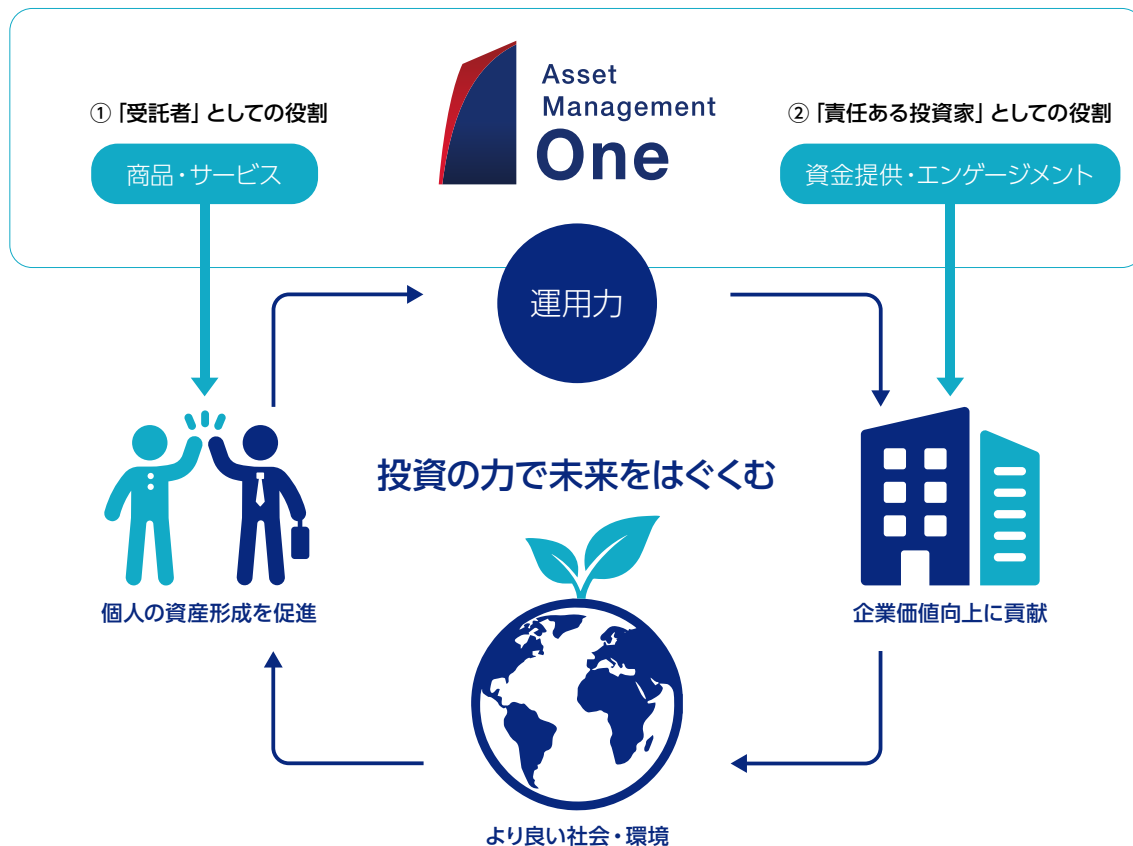


約束① 運用を通じてより良い社会の実現をめざします

コーポレート・メッセージ

「投資の力で未来をはぐくむ」

投資を通じて、中長期にわたるお客さまの資産形成と企業の健全な成長、そしてサステナブルで豊かな社会の実現を支えていきます



コーポレート・メッセージに込めた思い

投資は、人びとの暮らしを支える経済活動の土台です。お客さまからお預かりした資金をリターンと共にお返しすることはもちろん、投資先企業の成長を支え、その先の活動を通じて環境や社会の課題の解決にもつなげていく力があると、私たちは信じています

だからこそもっと (More) 挑戦を重ねることで、機関投資家のお客さまに提供している高度な運用の知見を、個人投資家のみなさまにも活かし、運用力・商品力・サービス提供力を磨き、お客さまにとって信頼できる存在であり続けたいと考えています



取締役社長 杉原 規之

もっともっと、あなたのために。

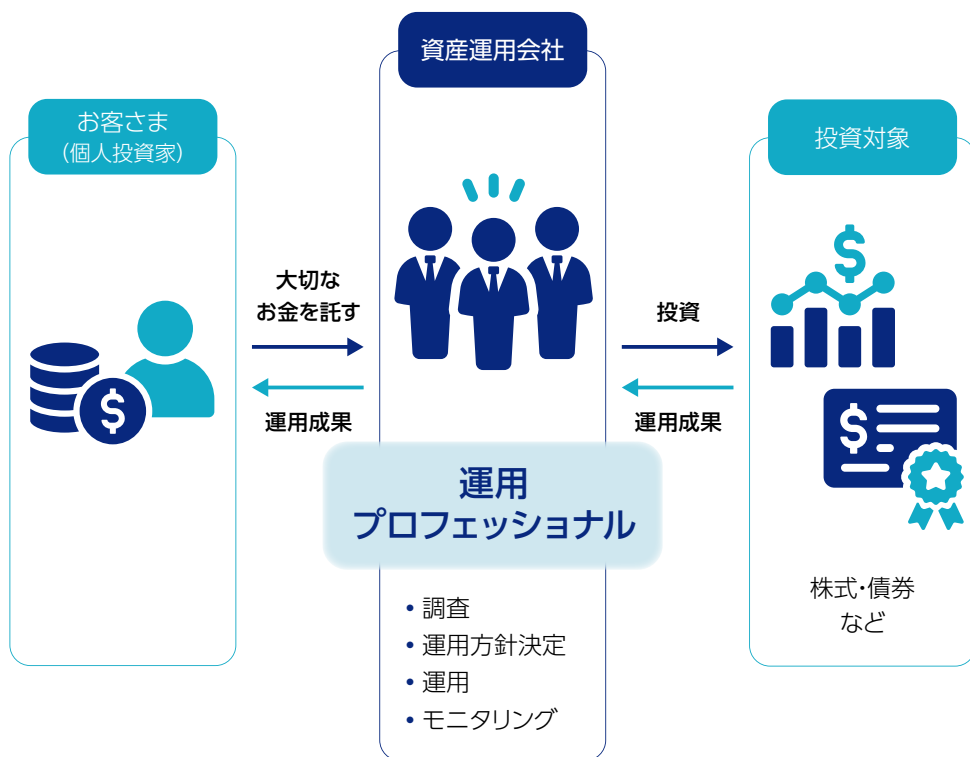
One
More!

「投資の力で未来をはぐくむ」理念のもと、私たちはお客さまのために、私たち (One) がもっと (More) 挑戦し続ける (= "One More!") をテーマに掲げ、お客さまにとってより身近で信頼される資産運用会社をめざしていきます

約束② 運用のプロとして長期的に高い運用成果を追求します

- 当社は、個人のお客さまから機関投資家まで、さまざまなお客さまの資産運用を支えるため、社内の運用プロフェッショナルが調査・分析を行い、運用を担う体制を整えています

長期リターンの追求のために



お客さまの大切なお金をお預かりし、
長期安定的なリターンを追求します

国内トップクラスの運用体制



経験豊富な運用プロフェッショナルの不断の研鑽を軸に、変化の時代においても皆さまの未来づくりに、責任ある運用で確かに応えてまいります

運用本部長 村松 茂樹

国内最大級の運用プロフェッショナル 187名

ファンドマネジャー数 138名



アクティブ運用
(独自の判断で投資先を選定し運用)

インデックス運用
(日経平均等指数と連動した運用)

平均運用経験年数 14.4年

アナリスト・エコノミスト・ストラテジスト 49名

2026年4月1日時点

約束③ 幅広いニーズに応える質の高い商品を提供します

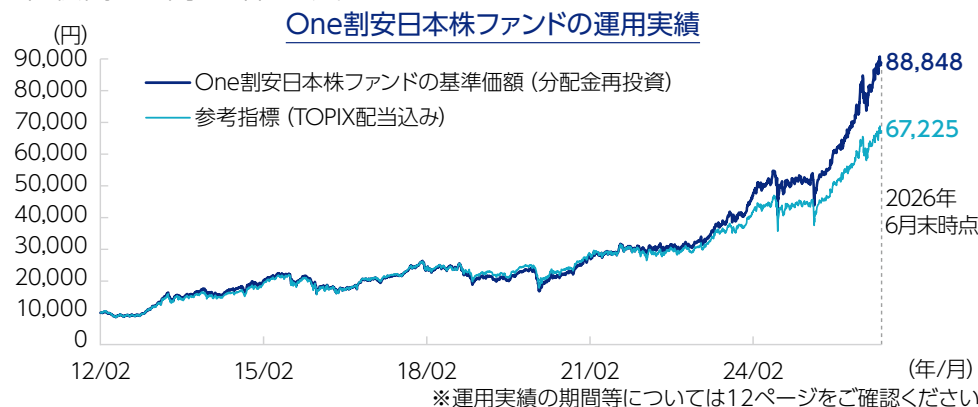
●運用プロフェッショナルとして、お客さまの投資目的や多様なニーズに応じて商品設計を行い、運用成果につなげることを重視しています

■日本株の投資信託を一例としてご紹介します

長期にわたる運用実績があり、
外部から評価を得てきた日本株投資信託

One割安日本株ファンド

- 本来の価値より割安と考えられる日本企業に投資し、株価上昇のきっかけとなる要因を捉えることで、値上がり益と配当収入の獲得をめざす投資信託です
- 市場環境が変化する中でも、10年以上にわたり運用実績を積み重ねてきました。その実績は、外部の評価機関から高い評価を受けています



安西 慎吾

ファンドマネジャーメッセージ

本邦最大級の株式リサーチ体制を活用して綿密に調査を行い、市場参加者が気づいていない企業の真の価値を発見することにより、リターン獲得をめざします

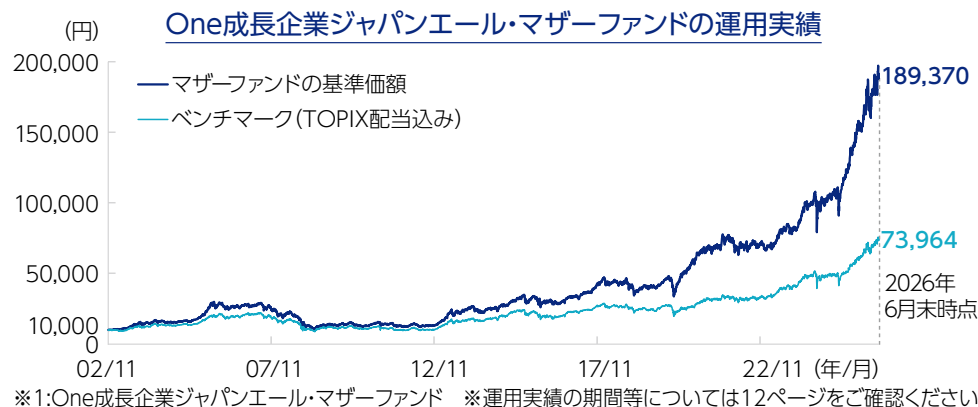


▶ 詳しい商品概要はこちら

長年の運用実績をいかし、
日本の成長企業に着目する投資信託

One成長企業ジャパンエールファンド

- 日本の成長テーマに着目し、成長が見込める企業を応援する投資信託です
- 20年以上の良好な運用実績を持つ親投資信託^{*1}を通じて、日本企業の成長を中長期の成果につなげることをめざします



関口 智信

ファンドマネジャーメッセージ

「株価のベースは、将来の利益にある」という考えのもと、利益の成長期待が株価に織り込まれていない企業や市場平均を上回ることが見込まれる企業に投資し、リターンの獲得を狙います



▶ 詳しい商品概要はこちら

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各投資信託の商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上、投資信託説明書（交付目論見書）等にてご確認ください。
※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※「R&Iファンド大賞」の評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

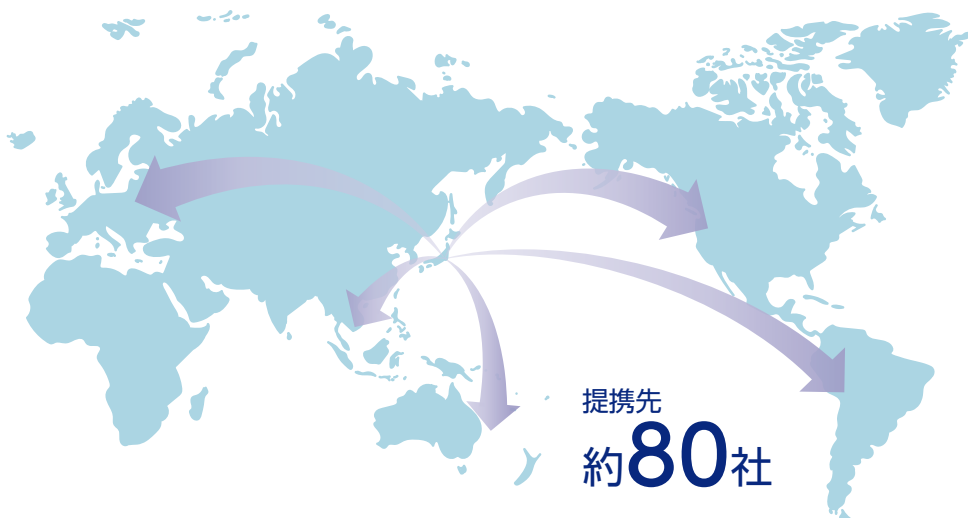
約束③ 幅広いニーズに応える質の高い商品を提供します

- お客さまの多様な投資目的やニーズに応えるため、世界中の運用会社やさまざまな運用戦略を調査・選定し、先進的な領域への投資にも積極的に取り組んでいます

お客さまの多様なニーズに対応するために

- 約50名の運用力評価のプロフェッショナルが、世界各国の運用会社の投資哲学、運用力、運用実績などを分析したうえで、一流の運用会社を厳選し、提携しています
- 良質かつ豊富な戦略ラインナップを多様なお客さまに提供しています

世界に広がる公募投資信託の提携先



専門性の高い世界の運用力をいかし、 新しい投資機会をお届けする投資信託

暗号資産関連株式ファンド

- ・暗号資産関連ビジネスは、決済や金融サービスなどの分野で利用が広がる、次世代の金融インフラを支える成長テーマです
- ・この分野に知見を持つヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(米国)に委託し、暗号資産関連ビジネスを行う企業の株式に実質的に投資します

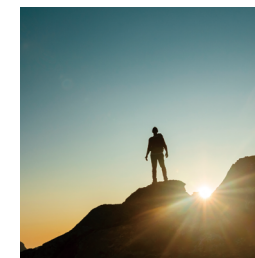


▶詳しい商品概要はこちら

世界の運用プロと知恵を出し合い、 インフレ社会に適応するため設計した先進的な投資信託

One／ティー・ロウ・プライス インフレガード&オポチュニティ・ファンド (ガードコース(安定))/ (モデレートコース(標準))/ (オポチュニティコース(積極))

- ・ティー・ロウ・プライス(米国)との協働で開催する運用会議で足元の市況やインフレ動向などを議論し、運用しています
- ・世界の異なる資産クラスに投資を行いリスク分散しながら、長期的に日本のインフレ率を上回る資産の成長をめざします



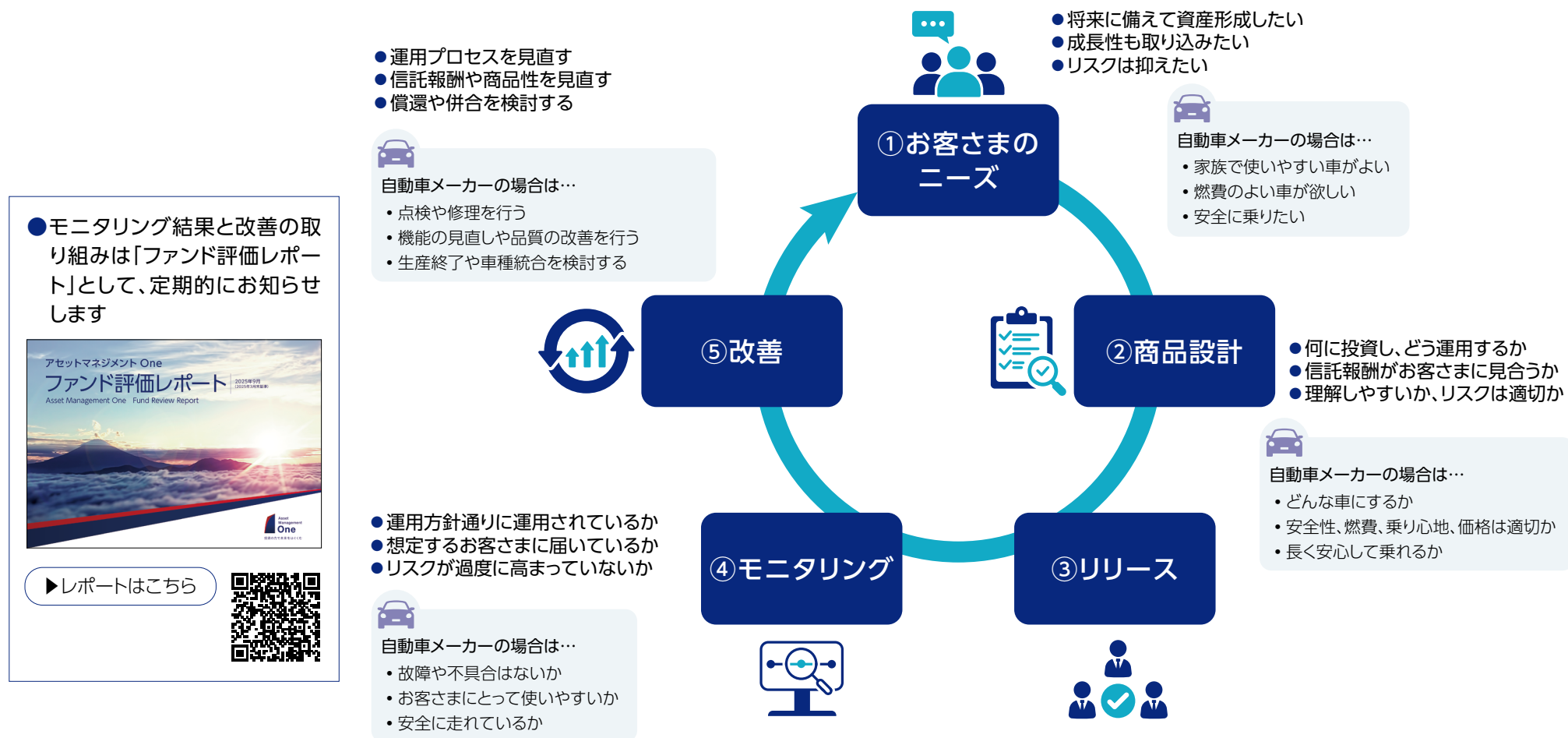
▶詳しい商品概要はこちら

約束③ 幅広いニーズに応える質の高い商品を提供します

- 当社では、お客さまに長く安心して保有いただけるように商品を作り、提供しています
- 商品を作った後も、運用状況やお客さまにとって適切な商品となっているかを継続的に確認し、改善につなげています

お客さまのニーズを高い品質でお応えするために

- 例えば自動車メーカーが車を作るときと同じように、投資信託も「作る前」から「提供した後」まで品質を徹底的に確認し、改善を続けています



約束④ 資産形成に役立つ情報をわかりやすくお届けします

- お客さまが金融商品・サービスを身近に感じ、安心して考えていただけるよう、金融経済教育やわかりやすい情報発信に取り組んでいます

投資の基本をわかりやすく

- 「未来をはぐくむ研究所※」の専用サイトにて、投資信託の選び方や投資金額の考え方など、資産づくりを続けるうえで役立つ基本を、わかりやすくご紹介しています

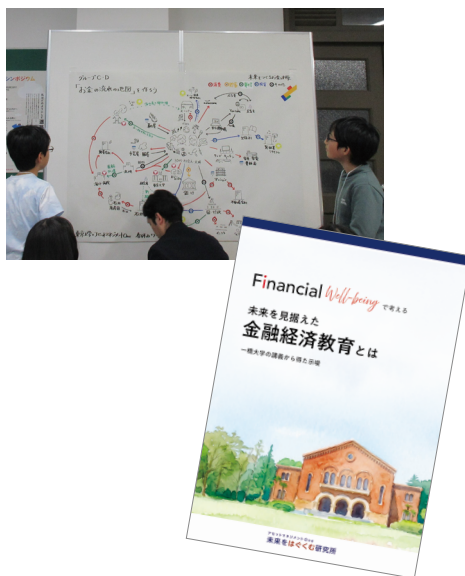
「未来をはぐくむ研究所」専用サイト



▶専用サイトはこちら



対面での活動



いま知りたい情報をタイムリーに

- 当社ウェブサイトにて、お客さまが保有する商品の運用状況や市場の動きに加え、日本株などの投資テーマについても、タイムリーにわかりやすくお届けしています

投資環境レポート



日本株特設サイト



▶特設サイトはこちら



※当社は『お客さまの理解の土台づくり』『お客さまの判断』を支える金融経済教育に継続的に取り組むため、専門に担う社内組織として、「未来をはぐくむ研究所」を設置しています

※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。

お客さまへの約束を守り続けるために大切にしていること

●お客さまへの約束を守り続けるために、私たちが大切にしていることやその状況について、わかりやすくお伝えします



- 約束① 運用を通じてより良い社会の実現をめざします
- 約束② 運用のプロとして長期的に高い運用成果を追求します
- 約束③ 幅広いニーズに応える質の高い商品を提供します

- 約束④ 資産形成に役立つ情報をわかりやすくお届けします
- 約束⑤ 信頼に応えるために公正で健全な経営を徹底します

※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。

お客さまへの約束を守り続けるために大切にしていること

お客さまからの支持

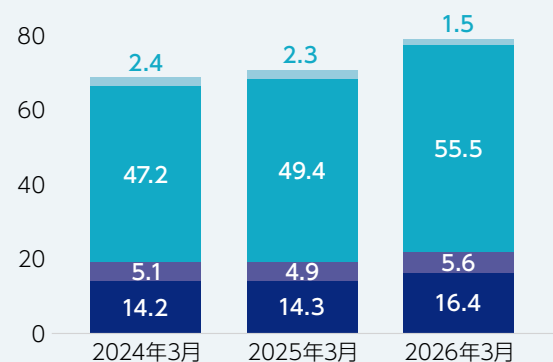
- 「①運用資産残高」は、多くのお客さまに選ばれていることの表れであり、残高が増えることはお客さまの安心感にもつながると考えています
- 「②残高ごとの投資信託数の推移」や「③1本当たりの投資信託の平均時価残高」は、投資信託の規模が大きいほど、投資信託が負担する運用や管理にかかる費用の影響を抑えやすく、運用成果にも良い方向に働くため、長く持ち続ける安心感にもつながります

①運用資産残高 (公募 / 私募投資信託・顧問)

- 2026年3月末時点の運用資産残高は79兆円に達しています
- また、年金資金などを運用するプロのお客さまからも多く選ばれています。公的年金向けのアクティブファンドでは受託残高が第1位※1です

※1:2025年3月時点(公的年金公表データよりアセットマネジメントOneが集計)

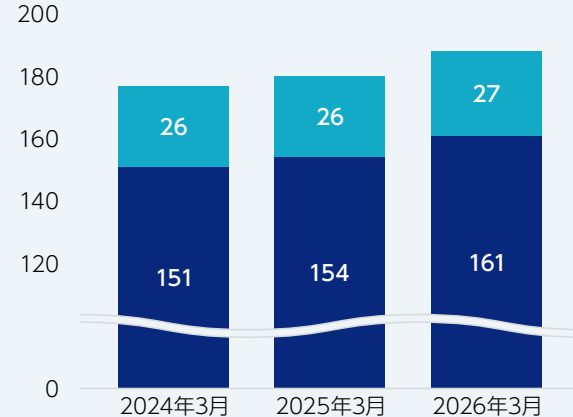
(兆円) ■公募投信 ■私募投信 ■投資一任 ■投資助言



②残高ごとの投資信託数の推移

- 100億円以上の商品が増えているほど、一定規模で運用されている商品が増えていると見ることができます

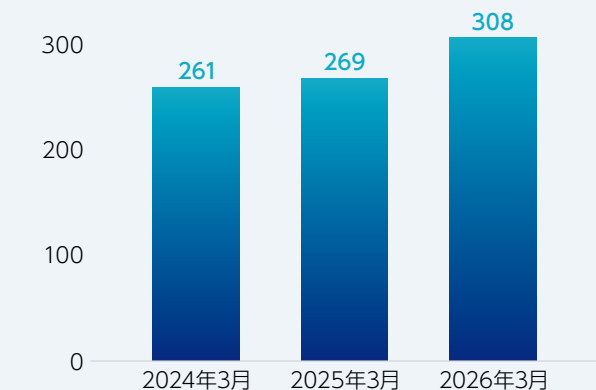
(本) ■100～1,000億円 ■1,000億円以上



③1本当たりの投資信託の 平均時価残高

- 平均時価残高が大きいほど、投資信託1本当たりの規模が育っていると見ることができます

(億円)



※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※各グラフに掲載している数値は、各月末時点のものです。巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。

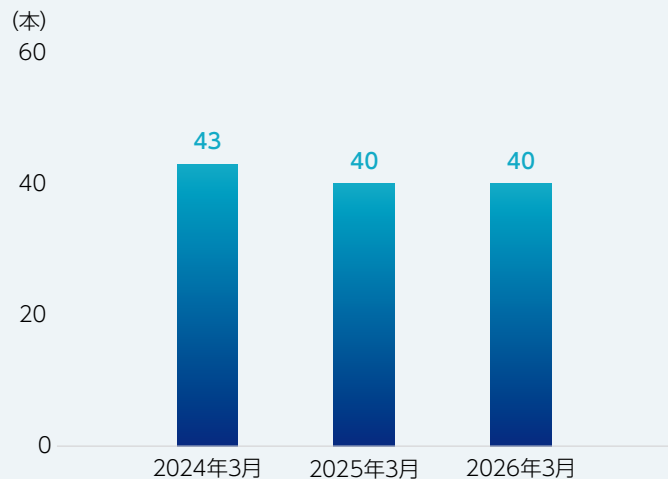
お客さまへの約束を守り続けるために大切にしていること

■ 運用力

- お客さまの資産づくりを支えるため、良質な商品を提供できているかを、外部評価をもとに確認していきます

④レーティング☆4以上の投資信託の本数

- 「Fundmark」レーティングは☆1～5の5段階で評価され、☆の数が多いほど高評価となります
- 純資産残高30億円以上かつ☆4以上である当社投資信託の本数を示しています



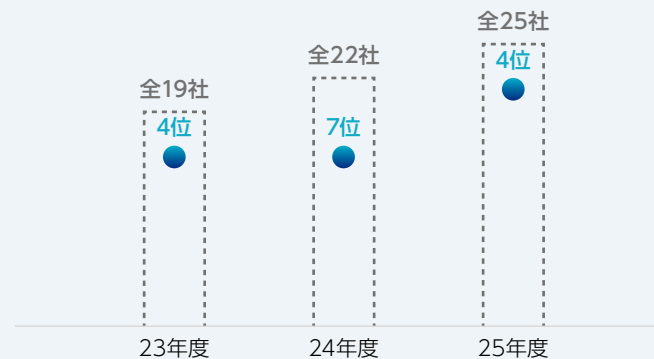
※株式会社野村総合研究所から提供されるFundmarkのデータを用いて、アセットマネジメントOne株式会社が作成

■ 販売会社からの評価

- お客さまのために、多様な運用会社の商品を厳しく選別している販売会社から評価されることは大切だと考えています

⑤満足度調査

- 販売会社の各運用会社に対する評価順位を示しています



※投信会社満足度調査順位 格付投資情報センター(R&I)「ファンド情報」よりアセットマネジメントOne株式会社が作成

お客さまへの約束を守り続けるために大切にしていること

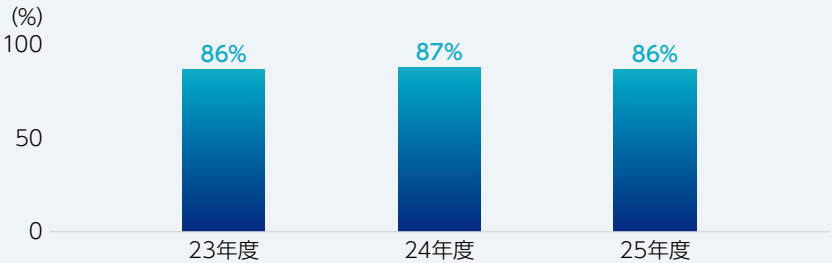
より良い未来につなげること

- 当社はサステナブルな社会の実現に向けて、投資先企業と対話を通じ、企業の成長や社会・環境への取り組みを後押しする「エンゲージメント活動」を推進しています

⑥エンゲージメント実施状況※1

- 当社の対話が日本の主要企業に対しどれだけ行われているかを示します

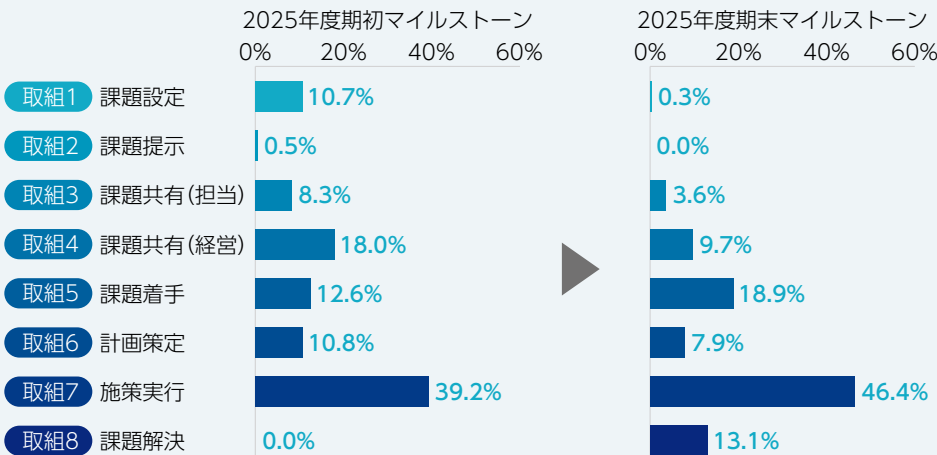
※1:TOPIX時価総額に占めるエンゲージメント活動先の割合



⑦エンゲージメントの成果

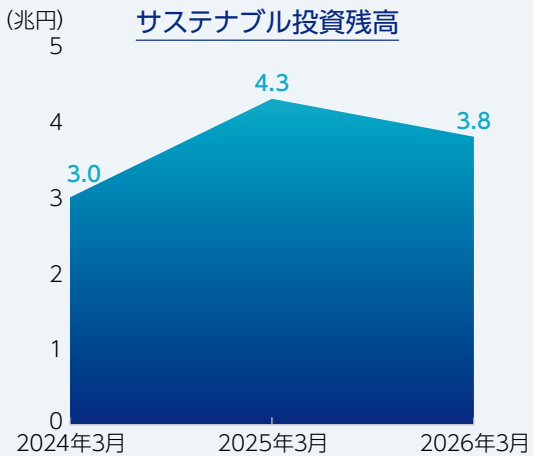
- エンゲージメント活動を通じて投資先企業が抱える課題の解決に向けた取り組みがどの程度進んだかを示しています

- 期末に向けて、「8.課題解決」に近い段階の割合が高まっていれば、エンゲージメントがより具体的な取り組みへ進んでいると見ることができます



⑧サステナブル投資残高※2

- 社会や環境にも目を向けた投資がどれだけ広がっているかを示します
- 残高が増えるほど、より良い未来につながる可能性のある投資が広がっていると考えています



※2:当社が定めるESGネーミングルールに該当するプロダクトの残高

▶サステナビリティレポートはこちら



※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※各グラフに掲載している数値は、各月末時点のものです。巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。

ご留意事項等

- 本資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した情報提供資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 各ファンドは、実質的に株式や債券、不動産投資信託証券(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。また、本資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。本資料に掲載したデータ、実績、評価および分析等は、過去の情報または一定時点の情報に基づくものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 投資信託は
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

<指数の著作権等について>

- 東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、東証株価指数(TOPIX)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

<One割安日本株ファンドの運用実績について>

期間:2012年2月22日~2026年6月30日(日次)

※基準価額およびTOPIX(配当込み)は当ファンド設定日前営業日の終値を10,000円として計算しています。

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後の価額です。換金時の費用・税金などは考慮していません。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を当ファンドに再投資したとみなして計算した理論上のものであり、実際の基準価額とは異なります。

※TOPIX(配当込み)は、当ファンドの理解を深めるため参考として記載したものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

<One成長企業ジャパンエールファンドについて>

期間:2002年11月8日~2026年6月30日(日次)

※マザーファンドの基準価額は設定日前営業日を、TOPIX(配当込み)はマザーファンド設定日前営業日の終値を10,000円として計算しています。

※マザーファンドの基準価額は1万口当たりの価額です。当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドへの投資には信託報酬等の費用がかかります。

※マザーファンドは、2026年2月25日に「東証株価指数(TOPIX)(配当込み)」をベンチマークとする約款変更を実施しました。

<R&Iファンド大賞について>

- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

- R&Iファンド大賞2026「投資信託部門」および「投資信託10年部門」の評価基準年月日は、いずれも2026年3月末です。

<Fundmarkについて>

- Fundmarkは、株式会社野村総合研究所が提供する投資信託のパフォーマンス評価レポートです。株式会社野村総合研究所が独自の調査に基づき、運用方針や運用実態に沿って投資信託の分類(Fundmark分類:約300分類)を行っています。同一分類内において、投資信託のパフォーマンスを相対的に評価し、順位(ランキング)や☆印による5段階の評価(レーティング)を発表しています。



アセットマネジメントOne 株式会社

商号等:アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会



投資の力で未来をはぐくむ